「札幌市障害福祉施策に関するアンケート調査 回答用紙」

お名前 三宅 由美

記入日 3月 27 日

所属政党 民主党

選挙区 南区

< アンケート回答記入欄 >

(Q 1 ~ Q 9 は対応する設問の選択肢番号 (例 ;) を中欄に、その回答理由または、「その他」の回答内容は、右欄にご記入ください。)

Q 1 .		地域生活が可能な環境整備を急ぐ必要がある。しかし地域の受け皿が不十分な現在、認定区分により機械的に退所させることがないようにするべき。
Q 2 .		
Q 3 .		
Q 4 .		通学、通所、通勤は日常の暮らしの最重要な部分であることから、移動支援が最も必要とされている。
Q 5 .		
Q 6 .		公的サービスは必要だが、介助を受ける子どもが特別視されないような配慮が必要。子どもたち同士が支え合う学校をつくっていくという目標を見失わないようにしたい。
Q 7 .		
Q 8 .		
Q 9 .		
Q10 .	<p>全国、どこの地域に住んでも、同じサービスが受けられるように、国は責任を持って基準を設け、補助金を出すべきだと思う。現状では、豊かな財政基盤を持つ自治体と、財政難にあえぐ自治体の格差が、益々開いてしまう。</p> <p>特別支援教育が、これまでの分離教育から統合教育へ向かう第一歩であることを、多くの市民が認識することを通じ、共生の社会を築いていきたい。グレー部分の「障がい」をレッテル貼りすることで、新たな差別が生じることのないようにしていきたい。</p>	